



# 上川井だより

令和5年1月31日  
横浜市立上川井小学校  
校長 山崎 真紀子

## 2月号

### 2月はどうして短いの？

副校長 荒海 透

久しぶりに行動制限のない年末年始は、世の中を少しだけ明るくしてくれましたが、冬本番に入るとともに新型コロナの影響だけでなく、久しぶりのインフルエンザの流行、そしてあらゆる物価の上昇など、私たちの身の回りには不安の種が尽きない状況となっています。

さて、「一月往ぬる二月逃げる三月去る」という言葉が表すように、ついこの前新年になったばかりなのに、あっという間に日が経ち明日からは2月です。この調子でいくと「もう3月も終わり」となってしまうのでしょうか。「なにか忘れていないかな。」「今のうちにやっておかなければならないことはないかな。」となんとなく心が騒ぐ時期です。

2月は28日までと一年の中で一番日数が少ないことや、4年に一度はうるう年として1日長いといったことは多くの人が知っていることです。また、本当の一年の長さは365日と5時間49分なので4年に一度のうるう年はその誤差を「調節」する年ということを知っている人もいることでしょう。でもどうして2月に調節するのでしょうか。

調べてみると今使われている暦は、2000年以上も前にローマで作られたものだそうです。今は1月が一年の始まりですが、大昔のローマでは3月が一年の始まりでした。つまり3月に一年が始まり、2月は一年の最後の月ということになります。29日の月と31日の月をだいたい交互にならべていくと（現在は30日と31日が交互）最後の2月を28日にしないと365日（当時は355日）にならないので、どうしても2月が短くなってしまふということがわかりました。そう考えると、2月はうるう年のときだけでなく、もともと「調節の月」といえることになります。

さあ、明日からはもう2月に入ります。各学年の学年だより1月号をみると、「学習や生活など一年のまとめをしっかりとしていきます。」や「みんなで進級できるように準備をしていきます。」といった決意の言葉が見られました。これは3月までに達成したいめあて、全員で目指す姿だと思います。しかし、時間が経てば自然と達成されるものでしょうか。もちろん答えはNOです。

そこで・・・2月は調節の月でした！ 3月の目指すべきゴールの姿に近づくために、今の自分を見つめ直す時です。中途半端だったことをきちんと収める時です。

今年度はじめに立てた目標、新年に立てた目標、克服したいと考えていた学習内容、友達とのよりよい関わり方、しっかりと整えたい生活習慣などなど。「ここはもう目標達成できているな。」「ここはまだまだ努力しないとイケないからこの2月に集中的に頑張ってみよう。」などの調節をしてラストスパートをかけたいところです。保護者の皆様にも子どもたちの目標を共有し、達成に向けて支援をお願いします。わたしたち教職員も子どもたち一人ひとりの思いや願いが叶い、笑顔で3月を迎えることができるようにサポートしていきたいと思ひます。